

令和 5 年 6 月 19 日現在

機関番号：15101

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H02716

研究課題名(和文) 行動障害のある児童生徒のためのスクールワイド支援システムの開発

研究課題名(英文) Development of a school-wide support system for students with behavioral disorders

研究代表者

井上 雅彦 (INOUE, Masahiko)

鳥取大学・医学(系)研究科(研究院)・教授

研究者番号：20252819

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,400,000円

研究成果の概要(和文)：機能的アセスメントに関する「行動観察アプリケーション」、「行動頻度測定アプリケーション」、「支援計画作成のためのストラテジーシート作成支援アプリケーション」の3つのアプリケーションを開発し、それらを活用した研修プログラム、コンサルテーションを実施した。教員研修プログラムについては、参加者全員が機能的アセスメントを実施し、それに基づいた行動支援計画を作成可能であった。また教員研修が実施された学校での個別介入のためのTier.3のコンサルテーションにおいては、年間数回の事例検討会で大きな改善が得られた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

強度行動障害など行動面に課題がある児童生徒の教育的ニーズが高まる中、我が国においては米国の学校で法的に義務付けられている問題行動に対する機能的アセスメントのような制度的裏付けはなく見識も広がっていない。本研究の成果物として機能的アセスメントに関するアプリケーションやそれに基づく研修、コンサルテーションシステムが開発されたことにより、今後の学校における支援の広がりが期待できる。

研究成果の概要(英文)：Three applications related to functional assessment were developed: "Behavior Observation Application," "Behavior Frequency Measurement Application," and "Strategy Sheet Application for Behavior Intervention Plan." And teacher training programs and consultations were conducted using these applications. For the teacher training program, all participants were able to conduct functional assessments and design behavior intervention plans based on these assessments. In the Tier 3 consultation for individual intervention in schools where the teacher training program was conducted, significant improvements were achieved after several case conferences per year, but additional training was indicated to be needed for teaching communicative behaviors that are functionally equivalent to challenging behaviors.

研究分野：特別支援教育

キーワード：機能的アセスメント スクールワイド支援システム 問題行動 知的障害 自閉スペクトラム症

1. 研究開始当初の背景

- ・強度行動障害は、知的障害と自閉スペクトラム症との強い関連性(井上ら,2012)が指摘され、知的障害者の約2~3%が該当するとされている(井上・福崎,2021)。
- ・強度行動障害のある児童生徒については、10歳以降からの重篤化(Inoue et al., 2022)が指摘され学齢期段階からの専門的な対応が望まれている。

2. 研究の目的

- ・本研究では強度行動障害のある児童生徒が多く在籍する知的障害特別支援学校を対象とし、米国を中心に研究されているスクールワイド(学校単位)の行動支援モデルであるSWPBISモデルを参考に、我が国の教育制度で実現可能なプログラムを開発・マニュアル化し実装研究を行う。

3. 研究の方法

・アセスメントシステムの開発と実装

行動観察アプリケーション、行動頻度測定アプリケーション、支援計画作成のためのストラテジーシート作成支援アプリケーションの3つのアプリケーションとそれらの情報を統合するための行動障害アセスメント情報ホームページを開発した。

・行動障害のための教員研修システム開発

上記のアセスメントツールの活用も含めた機能的アセスメントに基づく教員研修プログラムを作成し、研究協力校等に実施し事前事後での効果について検証した。

- ・行動障害のための学校コンサルテーションシステムの開発と実装を行った。

4. 研究成果

・アセスメントシステムの開発と実装

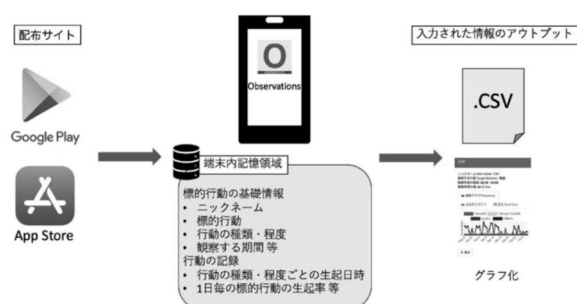


図1 アプリケーションのシステム(井上ら,2019)

図1のようなシステムで行動観察アプリ Observations(ver.1)を開発した。Android(アンドロイド機器用)とiOS(iPhone, iPad用)の2つのOS版を各OSの配布サイトからダウンロードし、スマートフォンやタブレットなどのデバイスで利用可能である。記録者は観察時間や標的行動などを設定し、行動の出現に合わせてカテゴリをタップすることで記録される。入力された行動観察データは即時にグラフ化して表示させることが可能である。データは各デバイス内に格納蓄積され、必要に応じてcsv形式でメール送信可能なため、パソコンなどでのデータの編集加工が可能となっている(図2)。

この他、機能的アセスメントに関するABC行動記録を支援するアプリ、行動支援計画の作成支援のためのストラテジーシートのアプリの2種類を作成した。

・教員研修プログラム

発達障害があり行動面に問題のある生徒を担当する教師を対象に、応用行動分析(ABA)に基づくワークショップ形式のプログラムを実施した(Inoue et al., 2021)。参加者は、行動に問題のある生徒を担当する18人の教師であった。ワークショップは、ABAに関連する講義とグループディスカッションの8つの2時間のセッションで構成された。

BIPの開発と実施、および行動上の問題の

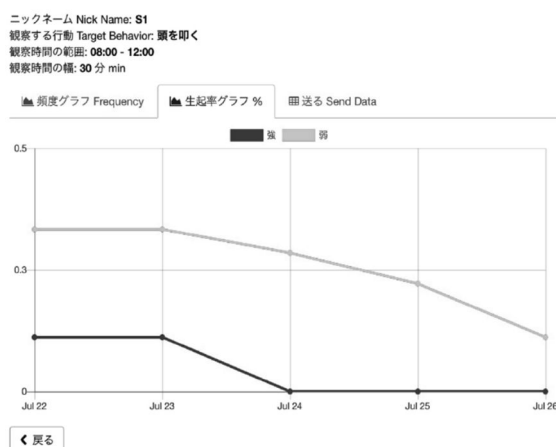


図2 Observationsのグラフ画面(井上ら,2019)

改善について、達成レベルを評価した。セッションの半分以上に参加した 15 人の教師が分析対象とされ、その教師全員が適切な機能的行動評価（FBA）を実行し、BIP を作成することができ、12 人は対象となる問題行動の改善を示した。本ワークショップでは、「ストラテジーシート」を使用して適切な FAB と BIP を作成できること、教師のメンタルヘルスを改善する可能性があることも示唆された。

・学校コンサルテーション

特別支援学校において強度行動障害のある 8 人の生徒に対して 6 か月間で 1 人 3～6 回の外部コンサルタントチームによる機能的アセスメントに基づいたコンサルテーションを実施した。機能的アセスメントの結果、コミュニケーション機能を伴う 8 つの行動と感覚強化の機能を推定された 2 つの行動がターゲットとされた。行動の生起頻度の記録から 6 つの行動について高い改善効果が示された。また事前事後の ABC-J、CBCL、強度行動障害評価基準の各尺度の指標について統計的に有意な改善が見られた。Tier.3 のコンサルテーションにおいては、年間数回の事例検討会で大きな改善が得られたが、問題行動と機能的に等価なコミュニケーション行動の指導については、付加的な訓練が必要となることが示された。

引用文献

井上雅彦・岡田涼・野村和代・安達潤・辻井正次・大塚晃・市川宏伸(2012)強度行動障害における自閉性障害との関連性 日本自閉症協会評定尺度（PARS）短縮版による分析.精神医学 54(5),473-481.

井上雅彦・中谷啓太・東野正幸（2019）行動上の問題に対する行動記録アプリケーション “ Observations ” の開発 行動分析学研究 34(1)78-86.

井上雅彦・福崎俊貴（2022）強度行動障害のある人の鳥取県における総人口調査.自閉症スペクトラム研究 19(2),25-34.

Inoue, M., Kishimoto, T., & Fukuzaki, T. (2021). Interventions for Students with Problem Behaviors: A Workshop Incorporating Applied Behavior Analysis for Japanese Teachers. *Yonago Acta Medica*.64(1): 98–106.

Inoue, M., & Oda, M. (2020). Consultation on the Functional Assessment of Students with Severe Challenging Behavior in a Japanese Special School for Intellectual Disabilities. *Yonago Acta Medica*, 63(2), 107-114.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計55件（うち査読付論文 50件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 14件）

1. 著者名 Ito, H., & Inoue, M	4. 巻 65(1)
2. 論文標題 Parent-Mediated Toilet Training for a Child with Autism Spectrum Disorder through Teleconsultation: A Case Report	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 . Yonago Acta Medica	6. 最初と最後の頁 90-95.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2022.02.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, M., & Okamoto, K. (2022).	4. 巻 65(3)
2. 論文標題 Japanese Parents' Experiences with Home-Based Interventions of Applied Behavior Analysis for Young Children with Autism Spectrum Disorders.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Yonago Acta Medica	6. 最初と最後の頁 266-269.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2022.08.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Haraguchi, H., & Inoue, M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Evaluating outcomes of a community-based parent training program for Japanese children with developmental disabilities: a retrospective pilot study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 . International Journal of Developmental Disabilities	6. 最初と最後の頁 1-10.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/20473869.2022.2070420	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, M., Gomi, Y., & Matsuda, S	4. 巻 -
2. 論文標題 Developmental trajectories of challenging behaviors reported retrospectively by Japanese parents of adult children with intellectual disabilities	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Developmental Disabilities	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/20473869.2022.2087450	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomohisa, Y., Yumi, I., & Inoue, M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Long-term outcome of selective mutism: factors influencing the feeling of being cured	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 European Child & Adolescent Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1-13.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00787-022-02055-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, M., Tatsumi, A., & Fukuzaki, T.	4. 巻 44(10)
2. 論文標題 Effectiveness of the internet based parent education program on applied behavior analysis for parents of children with autism spectrum disorder	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 . Brain and Development	6. 最初と最後の頁 655-663.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2022.07.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上雅彦・福崎俊貴	4. 巻 19(2)
2. 論文標題 強度行動障害のある人の鳥取県における総人口調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 .自閉症スペクトラム研究	6. 最初と最後の頁 25-34.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, M., Inada, N., Gomi, Y., Aita, C., & Shiga, T	4. 巻 43(6)
2. 論文標題 Reliability and validity of the Japanese version of the Behavior Problem Inventory-Short Form.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 673-679.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2021.01.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, M., & Inoue, N.	4. 巻 25(1)
2. 論文標題 Effects of Behavioral and Functional Training on Japanese Preschool Teacher Knowledge and Child Behavior.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Positive Behavior Interventions	6. 最初と最後の頁 53-64.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1098300721993531	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, M., Kishimoto, T., & Fukuzaki, T.	4. 巻 64(1)
2. 論文標題 Interventions for Students with Problem Behaviors: A Workshop Incorporating Applied Behavior Analysis for Japanese Teachers.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Yonago Acta Medica	6. 最初と最後の頁 98-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2021.02.013	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, M., & Takagi, A	4. 巻 64(1)
2. 論文標題 The Telehealth Program for Kindergarten and Nursery Teachers in Charge of Children with Behavioral Problems	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 . Yonago Acta Medica	6. 最初と最後の頁 143-146.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2021.02.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, N., Okanishi, T., Inoue, M., & Maegaki, Y.	4. 巻 64(1)
2. 論文標題 Psychological preparations affecting the emotions of children with developmental disorders toward hospitals.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Yonago Acta Medica	6. 最初と最後の頁 92-97.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2021.02.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松本好 榎本大貴 井上雅彦	4. 巻 18,2
2. 論文標題 行動上の問題を示す自閉スペクトラム症の疑いのある幼児を持つ母親への家庭訪問支援	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 自閉症スペクトラム研究	6. 最初と最後の頁 61-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原口英之・小倉正義・加藤香・竹澤大史・吉川徹・安達潤・井上雅彦	4. 巻 42(3)
2. 論文標題 自治体におけるペアレントメンターの活動に関する全国調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 発達障害研究	6. 最初と最後の頁 271-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masahiko Inoue, Shuhei Kaneko	4. 巻 63(4)
2. 論文標題 Survey of Japanese Welfare Facility Staff and Special School Teachers Facing Difficulties at Work with Persons with Challenging Behaviors	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Yonago Acta Med.	6. 最初と最後の頁 326-334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2020.11.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上雅彦・奥田泰代	4. 巻 18(1)
2. 論文標題 ペアレント・メンターにおける自己体験の語りの意味	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自閉症スペクトラム研究	6. 最初と最後の頁 15-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石坂務、井上雅彦	4. 巻 18(1)
2. 論文標題 感覚過敏性と家庭内暴力を呈した自閉症スペクトラム児に対する登校支援	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自閉症スペクトラム研究	6. 最初と最後の頁 5-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hideyuki Haraguchi, Honami Yamaguchi, Atsuko Miyake, Yoshiyuki Tachibana, Andrew Stickley, Mari Horiguchi, Masahiko Inoue, Fumiyuki Noro, Yoko Kamio	4. 巻 76
2. 論文標題 One-year outcomes of low-intensity behavioral interventions among Japanese preschoolers with autism spectrum disorders: Community-based study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Research in Autism Spectrum Disorders	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rasd.2020.101556	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masahiko Inoue and Mayumi Oda	4. 巻 63(2)
2. 論文標題 Consultation on the Functional Assessment of Students with Severe Challenging Behavior in a Japanese Special School for Intellectual Disabilities	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Yonago Acta Medica	6. 最初と最後の頁 107-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2020.05.006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 原口英之・小倉正義・山口穂菜美・井上雅彦	4. 巻 17(2)
2. 論文標題 都道府県・政令指定都市におけるペアレントメンターの養成及び活動に関する実態調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自閉症スペクトラム研究	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松山 康成, 三田地 真実	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 高等学校における学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS) 第1層支援の実践 Good Behavior Ticket (GBT) とPositive Peer Reporting (PPR) の付加効果	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 行動分析学研究	6. 最初と最後の頁 258-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村章司	4. 巻 57
2. 論文標題 発達障害児に対するペアレント・トレーニング参加を通した大学院生への研修の効果-教師に対する保護者支援研修プログラムの検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 兵庫教育大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 77-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 原口英之・小倉正義・山口穂菜美・井上雅彦	4. 巻 17(2)
2. 論文標題 都道府県・政令指定都市におけるペアレントメンターの養成及び活動に関する実態調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 自閉症スペクトラム研究	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡崎奈津・井上雅彦	4. 巻 12
2. 論文標題 発達障害・者の祖父母に対する母親の意識と支援ニーズ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 鳥取県臨床心理研究	6. 最初と最後の頁 3-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩坂英巳・井上雅彦・式部陽子	4. 巻 60(1)
2. 論文標題 ワークショップ 「ペアレント・トレーニング」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 児童青年精神医学とその近接領域	6. 最初と最後の頁 57-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森長真帆・井上雅彦	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 児童養護施設直接処遇職員に対する行動支援プログラムが職員・発達障害児童の行動変容にもたらす効果	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 自閉症スペクトラム研究	6. 最初と最後の頁 23-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上雅彦・中谷啓太・東野正幸	4. 巻 34(1)
2. 論文標題 行動上の問題に対する行動記録アプリケーション “Observations” の開発	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 行動分析学研究,	6. 最初と最後の頁 78-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue M	4. 巻 62(2)
2. 論文標題 Assessments and Interventions to Address Challenging Behavior in Individuals with Intellectual Disability and Autism Spectrum Disorder in Japan: A Consolidated Review	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Yonago Acta Medica	6. 最初と最後の頁 169-181
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.33160/yam.2019.06.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeda, S・ Nakayama, S・ Uddin, M. S., Hiramoto, A., & Inoue, M.	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 Correlation Between Subjective Happiness and Pleasant Activities at Workplace in Nursing Staff for Older Individuals in Japan.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Community Mental Health Journal	6. 最初と最後の頁 160-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 井上雅彦	4. 巻 28(1)
2. 論文標題 応用行動分析を教育に活かす-行動上の問題の解決のために学校がすべきことは何か-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 LD研究	6. 最初と最後の頁 39-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村章司・井澤信三・宇野宏幸	4. 巻 57
2. 論文標題 自閉スペクトラム症児における行動問題と保護者のニーズ：保護者のストレス対処力の影響を含めて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 特殊教育学研究	6. 最初と最後の頁 149-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保 賢一, 月本 弾, 大対 香奈子, 田中 善大, 野田 航, 庭山 和貴	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 公立小学校における学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS) 第1層支援の効果と社会的妥当性の検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 行動分析学研究	6. 最初と最後の頁 244 - 257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保 賢一, 辻本友紀子, 庭山和貴	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 ポジティブ行動支援 (PBS) とは何か?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 行動分析学研究	6. 最初と最後の頁 166 - 177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保 賢一	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 特集号「学校場面におけるPBSの最前線」の発行にあたって (巻頭言)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 行動分析学研究	6. 最初と最後の頁 162 - 165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松山康成, 三田地真実	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 高等学校における学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS) 第1層支援の実践 : Good Behavior Ticket (GBT) と Positive Peer Reporting (PPR) の付加効果 (特集 学校場面におけるPBSの最前線)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 行動分析学研究	6. 最初と最後の頁 258-273
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤智彦, 三田地真実, 岡田徹太郎	4. 巻 25
2. 論文標題 大学経済学専門科目の「大人数講義型授業」における「アクティブ・ラーニング型授業」導入効果の検証	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 京都大学高等教育研究	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田地真実	4. 巻 142
2. 論文標題 ライフヒストリー-曼荼羅ワークショップ: 他者を理解すること	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 哲学	6. 最初と最後の頁 187-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島泉・坂牛怜・村瀬裕美・浅見淳・井上雅彦	4. 巻 3(33)
2. 論文標題 自殺予防に関するゲートキーパー研修による就労移行支援機関職員の自己効力感への効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 精神科治療学	6. 最初と最後の頁 365-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 雅彦	4. 巻 58(1)
2. 論文標題 発達障害者の行動上の問題に関する機能分析アプローチの実際	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 小児の精神と神経	6. 最初と最後の頁 15-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西出まり・竹田伸也・井上雅彦	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 対人援助者の認知の歪みが一般性セルフ・エフィカシーとバーンアウトに与える影響の検討	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 認知療法研究	6. 最初と最後の頁 102-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下綾子・岡村章司	4. 巻 27
2. 論文標題 中学校通常学級における授業改善のためのコンサルテーションの効果：学年会におけるアセスメントに基づく支援の検討を通して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 LD研究	6. 最初と最後の頁 478-490
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森一晃・岡村章司	4. 巻 56
2. 論文標題 通常の学級担任に対するクラスワイドな支援を用いた行動コンサルテーションの効果の検討 教師の支援行動の評価を含めて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 特殊教育学研究	6. 最初と最後の頁 169-182
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田地 真実	4. 巻 927-39頁
2. 論文標題 「学生の行動を軸に見据えて、『機能するグループワーク』を企画・実施するために～行動分析学とファシリテーションの視点から～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『法政大学教育研究』（法政大学教育開発支援機構FD推進センター）	6. 最初と最後の頁 27-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田地 真実	4. 巻 9
2. 論文標題 「学生の行動を軸に見据えて、『機能するグループワーク』を企画・実施するために～行動分析学とファシリテーションの視点から～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『法政大学教育研究』（法政大学教育開発支援機構FD推進センター）	6. 最初と最後の頁 27-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松下慎之介・井上雅彦	4. 巻 68(3-5)
2. 論文標題 小・中学校教員の合理的配慮を妨げる心理的要因	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 米子医学雑誌	6. 最初と最後の頁 35-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 雅彦	4. 巻 12
2. 論文標題 発達障害に対するペアレント・トレーニングの動向と課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床発達心理実践研究	6. 最初と最後の頁 40-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 雅彦	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 発達障害に対するペアレント・トレーニングの実際と課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 発達障害研究	6. 最初と最後の頁 87-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上 雅彦	4. 巻 65(8)
2. 論文標題 応用行動分析から考える家庭における発達障害の理解と支援	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 教育と医学	6. 最初と最後の頁 4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村章司・渡部匡隆	4. 巻 53
2. 論文標題 自閉症スペクトラム幼児の両親に対する夫婦間コミュニケーション行動を促す支援の検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 カウンセリング研究	6. 最初と最後の頁 35-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三田地 真実・岡村章司・原口 英之・神山 努	4. 巻 13
2. 論文標題 アメリカの生徒指導体制「スクールワイドPBS(ポジティブな行動支援)」：オレゴン大学から発信される、全校児童生徒を対象としたユニバーサルな学校デザイン	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 共生科学研究：星槎大学紀要	6. 最初と最後の頁 96-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武部匡也, 岸田広平, 佐藤美幸, 高橋史, 佐藤寛	4. 巻 43
2. 論文標題 子ども用怒り感情尺度の作成と信頼性, 妥当性の検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 行動療法研究	6. 最初と最後の頁 169-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 仲田比呂子, 山口智慧, 佐藤美幸 他	4. 巻 (7)
2. 論文標題 特別支援学級における自閉症スペクトラムの生徒の得意な能力を生かすための指導・支援についての調査研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 特別支援教育臨床実践センター年報	6. 最初と最後の頁 103-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平澤紀子, 坂本裕, 大久保賢一, 藤原義博	4. 巻 39(2)
2. 論文標題 行動問題を示した発達障害児の小学校担任に対する入学当初における有効な支援情報に関する検討 就学前の行動支援計画の実行評価から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 発達障害研究	6. 最初と最後の頁 209 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保 賢一	4. 巻 43(2)
2. 論文標題 自閉症スペクトラム障害のある高校生が示した外出恐怖に対する段階的プログラムの効果	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 行動療法研究	6. 最初と最後の頁 137-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本母 世跳, 大久保 賢一	4. 巻 55(5) 259-270
2. 論文標題 知的障害特別支援学校における「授業評価シート」を用いた授業改善の試み : 教師の援助行動と児童生徒の自発行動の変容に対する検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 特殊教育研究	6. 最初と最後の頁 259-270
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計88件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 12件)

1. 発表者名 下山真衣・倉光晃子・井上雅彦・澤幸祐
2. 発表標題 行動分析学に基づいた実践のためのミーティング-研修でABAを学び、正の強化機会が増えるために
3. 学会等名 日本行動分析学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井田美沙子・榎本大貴・井上雅彦
2. 発表標題 発達支援施設通所児の親に対する鳥取大学方式ペアレントトレーニング 効果- 1年後の効果維持の検討
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 縄岡咲子・野口晃菜・井田美沙子・井上雅彦
2. 発表標題 実施者養成研修参加者が初めて実施するペアレントトレーニング
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上雅彦
2. 発表標題 応用行動分析入門
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大久保賢一
2. 発表標題 SWPBSにおけるデータに基づく意思決定システムを構築する。
3. 学会等名 日本行動分析学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大久保賢一
2. 発表標題 SWPBSにおけるDBRの活用に関する検討
3. 学会等名 日本行動分析学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤美幸
2. 発表標題 「親子相互交流療法」発達障害時支援の最前線-医療・学校・家庭での支援
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤美幸
2. 発表標題 障害者支援におけるダイバーシティ-ダイバーシティの推進に向けてCBTは何ができるか
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Inoue, M Inoue,N.
2. 発表標題 Question-Answering Training About Past Activities for Children With Autism Spectrum Disorders,Part1:Answering Behaviors Using What-Type Questions
3. 学会等名 Association for Behavior Analysis International Miam (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上雅彦
2. 発表標題 精神科医は強度行動障害に何が出来るのか？
3. 学会等名 日本精神神経学会第115会大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤村桃子,北村紗耶香,足立みな美,井上菜穂,井上雅彦
2. 発表標題 発達障害児を対象とした療育 指導者養成プログラム
3. 学会等名 日本行動分析学会第37会大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北村紗弥香,古賀捷平,井上雅彦
2. 発表標題 カタトニア症状の見られた自閉症のある生徒に対する長期支援(1)-臨床動作法の導入とその効果について
3. 学会等名 日本自閉症スペクトラム学会第18会大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古賀捷平,北村紗弥,井上雅彦
2. 発表標題 カタトニア症状の見られた自閉症のある生徒に対する長期支援(2)行動問題への対応とコミュニケーション支援の効果
3. 学会等名 日本自閉症スペクトラム学会第18会大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井口妙子, 井上雅彦
2. 発表標題 保育園保護者研修会の位置づけで実施するペアレントトレーニング短縮版のフォローアップ効果について
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第60回大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡野太郎, 井上雅彦
2. 発表標題 発達障害児・者を同胞に持つ思春期きょうだいの支援ニーズに関する検討
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第60回大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井上雅彦, 中谷啓太, 松田壮一郎, 吉川徹
2. 発表標題 強度行動障害におけるセンシング技術を用いた評価システムの開発
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第60回大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue M, Inoue N
2. 発表標題 Effect of Group Staff training for Behavior Problem of the Children in Kindergartens and nursery Schools
3. 学会等名 Association for Behavior Analysis International (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue M, Nakatani K
2. 発表標題 Development of Behavior Record Application, "Observations," for Behavior Problems
3. 学会等名 World COngress of Behavioural and Cognitive Therapies Berlin Germany (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue M, Inous N
2. 発表標題 Question-Answering Training About Past Activities for Children With Autism Spectrum Disorders,Part1:Answering Behaviors Using What-Type Questions
3. 学会等名 Association for Behavior Analysis International Miam, (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宇野宏幸,岡村章司,奥村好美,中川綾,赤木和,鳥居深雪,石橋由紀子
2. 発表標題 海外の実践から日本型インクルーシブ教育を考える 子どもの多様性、学校の多様性をふまえて
3. 学会等名 日本LD学会第3回研究集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡村章,渡部匡隆,森下伊一郎,笹谷幸司,二宮信一
2. 発表標題 インクルーシブ教育を見据えた特別支援教育コーディネーターの役割
3. 学会等名 日本LD学会第28回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡村章司, 井澤信三, 大脇知子, 式部陽子, 若林上総, 野呂文行
2. 発表標題 学校現場における行動問題を示す自閉症児の保護者支援 効果的な教師研修プログラムの検討
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三田地真実, 実政修, 中竹慈子, 田熊立, 縄岡好晴, 岡村章司
2. 発表標題 ワークショップ型シンポジウム 支援会議を活性化させる「ファシリテーション」(3)
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田君彦, 岡村章司
2. 発表標題 特別支援学級担任への保護者連携に関する研修効果 保護者とのコミュニケーション促進を目指して
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松崎吉洋, 岡村章司
2. 発表標題 特別支援学校初任者に実施した目標設定に関する個別の指導計画作成の研修効果の検討
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 仲本義規, 岡村章司
2. 発表標題 通級担当教員と通常学級担任との連携を促す支援 連携プロセスの構築を目指して
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三田地真実, 岡村章司, 田熊立
2. 発表標題 ファシリテーションの理解啓発ビデオの作成とその効果 支援会議を活性化するための場づくりの技術
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山根佐智子, 三田地真実
2. 発表標題 発達障害の子どもの親から見た「障害受容」の意味
3. 学会等名 日本自閉症スペクトラム学会第18回研究大会抄録集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹林地毅, 三田地真実, 中竹慈子, 田熊立, 縄岡好晴
2. 発表標題 支援会議を活性化させる「ファシリテーション」(2)
3. 学会等名 日本特殊教育学会第57回大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三田地真実
2. 発表標題 オンラインによるライフヒストリー曼荼羅ワークショップ~インターネット会議システムZoomを使つての実践〜
3. 学会等名 第11回日本共生科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Inoue, M
2. 発表標題 Low-Intensity Early behavioral intervention among Japanese preschoolers with autism spectrum disorders; A cooperative system between home and kindergarten using closed SNS-
3. 学会等名 Association for Behavior Analysis International (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Matsumoto, K. Enomoto, D & Inoue, M
2. 発表標題 Effects of a home-visit program implemented to take action for the problem behavior of a child seen in family life
3. 学会等名 Association for Behavior Analysis International (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上 雅彦
2. 発表標題 自閉症スペクトラム児の支援法最前線
3. 学会等名 日本発達障害学会 第53回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上 雅彦
2. 発表標題 応用行動分析に基づく早期療育に対する公費化の可能性
3. 学会等名 日本行動分析学会第 36 回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上 雅彦
2. 発表標題 大学における発達障害学生支援の実践・研究の可能性を探る-諸外国の動向を踏まえた日本の大学における展望-
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上 雅彦
2. 発表標題 「障害児との関係の中でひらかれる意味世界の共有」の視座とは(2)-生活支援のなかで自己理解をどのように支えるのか-
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上雅彦
2. 発表標題 発達障害児者の行動問題から教育・福祉の充実を目指す(12)対応困難から生じる問題とその解決
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 服部裕果・榎本大貴・本間美穂・井上雅彦
2. 発表標題 発達に遅れのある幼児のパーティゲーム課題を用いた集団指導プログラムの効果
3. 学会等名 日本発達心理学会第29回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上菜穂・井上雅彦
2. 発表標題 小児科外来における発達障害へのプレパレーションの現状調査
3. 学会等名 日本精神神経学会第119回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上雅彦・小枝達也
2. 発表標題 発達障害の早期発見から支援への新たな可能性
3. 学会等名 日本小児保健協会学術集会第65回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大羽沢子・足立みな美・西村暁・井上雅彦
2. 発表標題 自閉症スペクトラム児への応用行動分析（ABA）に基づいた早期療育プログラムの効果
3. 学会等名 日本自閉症スペクトラム学会17回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上雅彦・阪本清美
2. 発表標題 知的障害特別支援学校における強度行動障害のある児童生徒に対するコンサルテーション
3. 学会等名 日本自閉症スペクトラム学会17回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西村 暁・井上 雅彦
2. 発表標題 通常学級の教員における合理的配慮に対する困難感
3. 学会等名 日本発達障害学会 第53回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 足立みな美・井上雅彦
2. 発表標題 発達障害児の親における自己体験の語りと心理的ストレス反応の関連
3. 学会等名 日本発達障害学会 第53回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井上雅彦・古賀捷平
2. 発表標題 発達障害のある子どものインターネット依存傾向に関する調査
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井口妙子・岡野太郎・井上雅彦
2. 発表標題 自閉スペクトラム症に関連する幼児健康診査行動項目の検討-B市における後方視的調査から-
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井田美佐子・榎本大貴・井上雅彦
2. 発表標題 児童発達支援施設通所児の親に対する鳥取大学方式ペアレントトレーニングの効果-機能分析の内容付加による検討-
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲田尚子・井上雅彦・五味洋一
2. 発表標題 日本語版BPI-S(問題行動評定尺度短縮版)の開発および信頼性・妥当性の検討
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 片山三季・古賀捷平・井上雅彦
2. 発表標題 発達障害があり引きこもり状態にある青年に対するアルバイト場面を用いた支援の試み
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第44回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陶貴之・井上雅彦・竹田伸也・榎本大貴
2. 発表標題 SNS形式のインターネットサイトによる認知行動療法の調査研究-サイト利用条件が利用者の気分・行動・自己効力感に与える影響について-
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第44回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 兵頭朋行・松本好し・井田美佐子・田村亮・榎本大貴・井上雅彦
2. 発表標題 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における高リスク群の早期発見・早期介入システムに関する検討
3. 学会等名 日本子ども虐待防止学会第24回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村章司・井澤信三・渡部匡隆・温泉美雪・竹島克典・藤野泰彦・小林靖
2. 発表標題 行動障害に対する保護者支援の現状と課題 教師に求められる支援と研修内
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三田地真実・岡村章司・山根佐智子・畔田みどり・瀬野寛子・谷田悦男・神山努
2. 発表標題 発達障害児の保護者が本当に求める「支援」の在り方～保護者からの問題提起～
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村章司・大脇知子
2. 発表標題 自閉症児の親に対するペアレント・トレーニング 親のストレス対処力に応じた効果検討
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村章司
2. 発表標題 行動障害×行動分析学：コンサルテーションを通して
3. 学会等名 行動分析学会春の学校
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大脇知子・塩見嘉久・岡村章司
2. 発表標題 学校での成果をもとにした知的障害生徒の保護者支援：特別支援学校における事例検討会を通して
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中島真由美・岡村章司
2. 発表標題 巡回相談員に対するコンサルテーション研修の効果 コミュニケーションスキルに焦点をあてて
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 名村嘉将・岡村章司
2. 発表標題 小学校における通常学級担任と通級担当の連携の効果の検討 対象児の参画に基づいて
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡村章司
2. 発表標題 通常学級担任が行動問題を示す自閉症児の保護者と連携した支援プロセスの検討
3. 学会等名 日本特殊教育学会第56回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三田地真実
2. 発表標題 Finding & sharing your “meta I-position” with others through the revised Mandala chart
3. 学会等名 10th International Conference on the Dialogical Self. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Inoue, M& Inoue, N.
2. 発表標題 Effects of parent training for the developmental disorders in the community setting
3. 学会等名 International Autism Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Homma, M., Inoue, M. & Okazaki, M.
2. 発表標題 Career education for high school students with developmental disabilities utilizing an internship program
3. 学会等名 International Autism Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue, M., Enomoto, D. & Murase, H.
2. 発表標題 The effectiveness of a group brief parent training for parents with the developmental disorders
3. 学会等名 International Meeting For Autism Research (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上 雅彦
2. 発表標題 発達障がい者のきょうだい支援 -きょうだい支援の意義と役割
3. 学会等名 日本小児神経学会第59回大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上 雅彦
2. 発表標題 ASD(自閉症スペクトラム障害)のペアレントトレーニング
3. 学会等名 日本精神神経学会第113回大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上 雅彦
2. 発表標題 「障害児との関係のなかでひらかれる意味世界の共有」をめぐって
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井上雅彦・大久保賢一
2. 発表標題 発達障害のある子への家庭・教室・地域での支援
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第43回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岩坂英巳・井上雅彦・式部陽子
2. 発表標題 ペアレントトレーニング
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第58回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西村暁・今北哲平・井上雅彦
2. 発表標題 思春期ペアレント・トレーニングにおいて異なる経過をたどった2事例の質的検討-受講中の行動観察と質問紙得点から
3. 学会等名 日本発達障害学会第52回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阪本清美・足立みな美・大羽沢子・井上雅彦
2. 発表標題 自閉症スペクトラム児への応用行動分析（ABA）に基づいた早期療育プログラムの効果（1）
3. 学会等名 日本自閉症スペクトラム学会第16回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 足立みな美・阪本清美・大羽沢子・井上雅彦
2. 発表標題 自閉症スペクトラム児への応用行動分析（ABA）に基づいた早期療育プログラムの効果（2）
3. 学会等名 日本自閉症スペクトラム学会第16回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 阪本清美・井上雅彦
2. 発表標題 知的障害特別支援学校における児童生徒との関わりの中で生じる教師の受傷状況とその原因に関する-鳥取県における聞き取り調査
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会発表論文集
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 井口妙子・井上雅彦
2. 発表標題 保育園保護者研修会の位置づけで実施するペアレントトレーニング短縮版の効果について
3. 学会等名 日本児童青年精神医学会第58回大会発表論文集
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本好・榎本大貴・井上雅彦
2. 発表標題 家庭訪問型指導による自閉症児へのコミュニケーション指導と親支援事例
3. 学会等名 日本行動分析学会第35回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 服部裕果・榎本大貴・本間美穂・井上雅彦
2. 発表標題 発達に遅れのある幼児のパーティゲーム課題を用いた集団指導プログラムの効果
3. 学会等名 日本発達心理学会第29回大会
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 Shoji Okamura & Tomoko Ohwaki
2. 発表標題 Parent-implemented intervention for a child with behavior problems: Promoting self-monitoring based on the 3-term contingency
3. 学会等名 Association for behavior analysis international 's 11th annual autism conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡村章司・井澤信三・熊谷正美・藤本優子・有川宏幸・小笠原恵
2. 発表標題 行動問題を示す自閉症児に対する保護者支援の在り方2 学校現場で「できること」
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三田地真実・岡村章司・実政修・田熊立・縄岡好晴・竹林地毅
2. 発表標題 支援会議を活性化させる「ファシリテーション」
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田中真理・岡村章司・廣澤満之・岡澤慎一・浜田寿美男・井上雅彦
2. 発表標題 「障害児との関係のなかでひらかれる意味世界の共有」をめぐって
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡村章司
2. 発表標題 通常学級担任が行動問題を示す自閉症児の保護者と連携した支援プロセスの検討
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大脇知子・岡村章司
2. 発表標題 特別支援学校における保護者面談に関する教員研修の効果の検討 グループによるロールプレイを通して
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三田地真実・岡村章司・原口一郎・遠藤佑一・佐藤智彦
2. 発表標題 問題行動に対応できる教員養成のためのビデオ動画の効果 応用行動分析学（ABA）の基礎知識の理解を促進するツールとしての活用
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石津乃宣・岡村章司
2. 発表標題 BAに基づく特別支援学校初任者研修の効果検討～専門家と連携して実施した校内研修～
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 名村嘉将・岡村章司
2. 発表標題 小学校の特別支援教育コーディネーターに対する参画型研修の効果 コーディネーションの役割に焦点を当てて
3. 学会等名 日本特殊教育学会第55回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大脇知子・岡村章司
2. 発表標題 自閉スペクトラム症児を持つ養育ストレスの高い母親への支援 適切な行動に特化したABC分析を通して
3. 学会等名 日本行動分析学会第35回年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 瀬野寛子, 三田地真実
2. 発表標題 発達障害の傾向のある子どもに対する支援のあり方の研究：保護者の行動と心理的過程を描くTEM図を通して
3. 学会等名 日本共生科学会第9回八王子大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 三田地真実, 大久保賢一, 平澤紀子, 石黒康夫, 園部直人, 田中清章, 小笠原恵
2. 発表標題 日本における、スクールワイドPBS(ポジティブな行動支援) その広がりと今後の課題
3. 学会等名 日本行動分析学会第35回年次大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Mami Mitachi & Naoto Sonobe
2. 発表標題 Building a Student Guidance System Based on SW-PBS in Japan
3. 学会等名 15th International Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年～2018年

〔図書〕 計19件

1. 著者名 井上雅彦(監修)三田地真実・岡村章司著	4. 発行年 2019年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 192
3. 書名 応用行動分析入門 ハンドブック	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 金子書房	5. 総ページ数 188
3. 書名 発達が気になる幼児の親面接：支援者のためのガイドブック	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 4
3. 書名 応用行動分析-タクト- 日本行動分析学会 編 行動分析学辞典 第1章	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 4
3. 書名 応用行動分析-ペアレント・トレーニング- 日本行動分析学会 編 行動分析学辞典 第4章	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2019年
2. 出版社 木立の文庫	5. 総ページ数 4
3. 書名 行動論からのコメント心理支援 実践編	

1. 著者名 大久保 賢一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 828
3. 書名 認知行動療法事典	

1. 著者名 大久保 賢一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 839
3. 書名 行動分析事典	

1. 著者名 大久保 賢一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学研教育みらい,学研プラス	5. 総ページ数 160
3. 書名 3ステップで行動問題を解決するハンドブック : 小・中学校で役立つ応用行動分析学	

1. 著者名 三田地 真実	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 304
3. 書名 B.F.スキナー重要論文集I 心理主義を超えて 第4章 オペラント行動	

1. 著者名 井上雅彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣.	5. 総ページ数 328
3. 書名 行動分析学-行動の科学的理解をめざして	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 14
3. 書名 発達障害と家族支援 - 発達障害の早期発見と支援へつなげるアプローチ-	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 9
3. 書名 ケアとしての就労支援 - 発達障害の就労支援はなにを目指すのか-	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 精神保健研究所 児童・思春期精神保健研究部	5. 総ページ数 24
3. 書名 かかりつけ医等発達障害対応力向上研修テキスト-発達障害のある児の親支援と早期支援	

1. 著者名 佐藤美幸	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 17
3. 書名 なるほど！心理学観察法-観察データのグラフ作成と変化の判定	

1. 著者名 佐藤美幸	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 6
3. 書名 なるほど！心理学観察法-大学の講義における私語の解消	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2017年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 4
3. 書名 特別支援教育の到達点と可能性2001～2016年：学術研究からの論考-特別支援教育における保護者連携と支援に関する現状と課題	

1. 著者名 井上 雅彦	4. 発行年 2017年
2. 出版社 金子書房	5. 総ページ数 35
3. 書名 ズバッと解決ファイル-「気になる子」を持つ親や家族への支援	

1. 著者名 三田地真実・神山努（監訳）岡村章司・原口英之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 270
3. 書名 子どもの視点でポジティブに考える問題行動解決支援ハンドブック	

1. 著者名 三田地真実	4. 発行年 2017年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 270
3. 書名 子どもの視点でポジティブに考える、問題行動解決支援ハンドブック	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岡村 章司 (Okamura Shoji) (00610346)	兵庫教育大学・学校教育研究科・教授 (14503)	
研究分担者	三田地 真実 (Mitachi Mami) (10209265)	星槎大学・教育学研究科・教授 (30124)	
研究分担者	佐藤 美幸 (Sato Miyuki) (30610761)	京都教育大学・教育学部・准教授 (14302)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	大久保 賢一 (Okubo Kenichi) (40510269)	畿央大学・教育学部・准教授 (34605)	
研究分担者	小笠原 恵 (Ogasawara Kei) (90345322)	東京学芸大学・教育学部・教授 (12604)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関